



大分市立
鴛野小学校
学校だより

鴛野小通信

令和2年
10月23日(金)
NO. 24
発行者: 板井勝博



鴛野小周辺の“初秋”みつけ

タイトルには初秋としていますが、すでにその時期は通り越し、本格的な秋といえそうです。

今日は鴛野小周辺で見つけた“初秋”を紹介します。右上は以前にも紹介した校舎北側のコスモス畑です。横から見るとコスモスが重なって見えて本当にきれいです。

右の写真は子どもたちからの花のプレゼント。枯らすわけにはいけないので、きれいな皿に水を入れ浮かべることにしました。殺風景な校長室が少し秋らしくなりました。

赤い実がなっている樹木は、ピラカンサ? トキワサンザシ、タチバナモドキ、カザンデマリを総称してピラカンサというそうです。鴛野川周辺に数本あります。きれいな赤い実をたくさんつけていてとてもきれいです。

右の少し紅葉した葉はナンキンハゼだと思えます。同じく鴛野川の土手にありました。実はこの木は運動場西側に数本立っており、かなり背の高い木です。図鑑を見ると高さ15mくらいになるそうです。学校の木の種類が何らかの方法で、ここまで移動し芽を出したのかもしれませんが。秋になるとハゼノキのように葉が真っ赤に紅葉し、実から口ウ



が採取できるのでナンキンハゼと名前が付いたそうです。

最後に右はセイタカアワダチソウです。自分が小学生の頃、このセイタカアワダチソウは有害な植物だといわれていました。今では、それは間違いだったということがわかっています。子どもの頃の記憶を持ち続け、セイタカアワダチソウにいわれなき偏見を持っていた自分を恥ずかしく思いました。

学校周辺を歩きまわっただけでも、いろいろと勉強になるものです。(もしも植物名に関して間違いなどありましたら、教えてください。)



小麦粉、有効活用します

鴛野小学校の図書館の斜め前、体育倉庫の横にこんもりと盛り上がった畑があります。もともとは、ここにビオトープがあったそうなのですが、そこを畑に作りかえたということです。その畑に昨年、小麦を植え、今年めでたく収穫しました。

ここまでの作業は主に寒倉徳之助さんを中心とする地域の有志の方々がしてくださいました。ありがとうございました。先日、寒倉様から製粉した小麦粉をいただきました。鴛野小学校産の小麦粉、有効活用させていただきます。ありがとうございました。



「子育て講演会」開催

就学時検診が行われた15日(木)、来年度1年生の保護者を対象に「子育て講演会」が開かれました。講師は大分県スクールカウンセラー長谷川多美子先生。先生は大分県教育センターや大分県中央児童相談所での豊富な勤務経験をもとに「親子の肯定的なコミュニケーション」という演題で講演をしてくださいました。とても役に立つ講演でしたので裏面で解説いたします。

大分県スクールカウンセラーの長谷川先生の講演資料の中に次のような記述がありました。

何事ももって具体的に教える→上手にできたら褒める→自信がつく

実はこれは教育の現場では「**教えてほめる**」という非常に大切な指導技術なのです。東京都の教師であった向山洋一先生が提唱された方法です。この方法は家庭でも使える方法ですので、ぜひ使ってみてください。今回は『発達障がいの子どもを“教えてほめる”トレーニングブック』（小嶋悠紀）を参考に内容を若干変更して解説します。

片付けができない子どもが変わる 「教えてほめる」

タロウくんは、帰ってすぐに宿題をします。これは素晴らしいのですが、宿題が終わると勉強の後片付けもせずに外に飛び出してしまいます。これが毎日です。

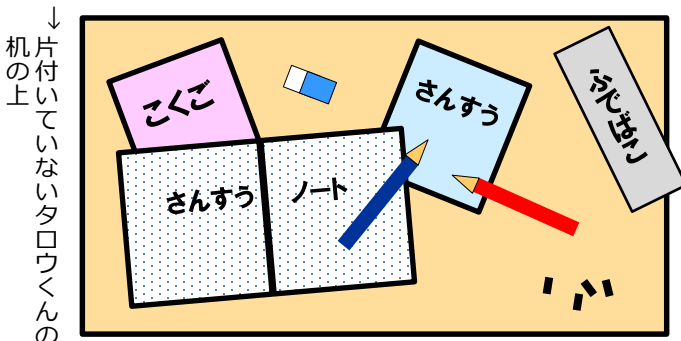
【NG対応】

「しっかり後片付けしなさい！」と叱る

【NGの理由】

叱るというのは「基準」があって成立する行為です。この場合、太郎君の頭の中に「片付けられた」という状況がどのような状況か入っていない可能性があります。叱るとただ「恐怖」だけが残り、指導すべき内容が入っていかないこともあります。

(前掲書P13より引用)

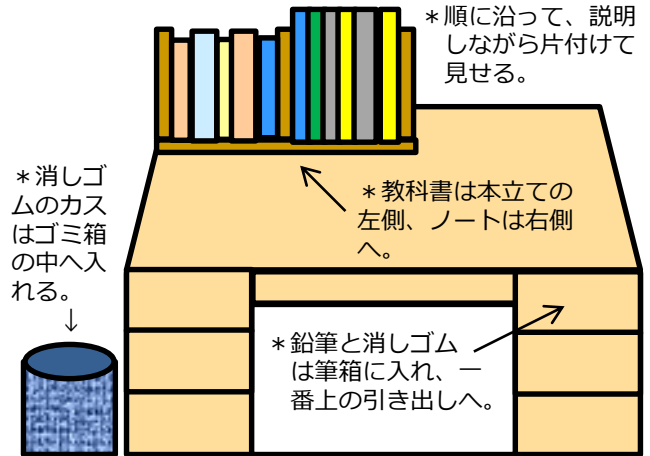


①片付け方を教える

1. 筆箱に鉛筆と消しゴムを入れる。
2. 筆箱を一番上の引き出しに入れる。
3. 算数ノートを机の上の本立ての右側に入れる。
4. 国語と算数の教科書を本立ての左側に入れる。
5. 消しゴムのかすをゴミ箱に入れる。

*口でいうだけでなく紙に書いて、よく見えるところに貼るとよい。

②順番に沿って片付けて見せる



③片付いた状態を教える

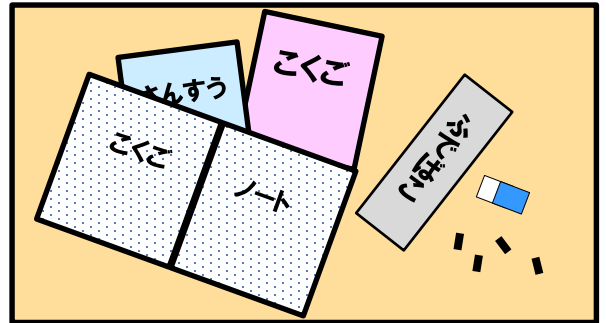
* 「片付いたというのは、こういう状態になることなんだよ。」と教える。

④実際に片付けさせてみる

* 最初の状態に戻して（片付いていない状態にして）実際に子どもに片付けさせる。できたら**大いにほめる**。

この①から④が「教えてほめる」です。

さて、下が次の日のタロウくんの机の上とします。「全然片付けてないじゃない！あんなに丁寧に教えたのに！」と叱りますか？実は、ここからの対応が大切なのです。



「すごい！鉛筆を筆箱に入れることができています！」と大いにほめる。

一回教えたからといって、すぐに片付けができるようになれば苦労はしません。ちょっとした「進歩」を見つけ、地道にほめてあげるのです。「教えてほめる」方法は奥が深いのです。

これだけは覚えておいてください。



教えてほめる



教えずに叱る